

ヲ去ルヲ巴豆霜ト云、略シテ巴霜トモ云、瓜萁仁霜杏仁霜ノ例ナリ、本邦ニテハ黒燒ノコトヲ霜ト云ニ因リ、巴霜ニ巴豆ノ黒燒ヲ用ユルハ誤ナリ、

増薩州會土考纂疏云、寛政二庚戌歲、中山歲貢船致巴豆於薩摩云、是福建連江縣之種、乃移植大隅佐多邑、其枝葉類臭梧桐、夏抽穗開小黃花、秋結實、中山吳繼志質問本草附錄云、巴豆樹高一二丈、葉形似烟草而小、長三四寸、濶二寸許、有縱理不甚厚、四月梢頭出穗、開細花、淡黃色、六月結實、作房、生青熟黃、老則房自分、折中貯三四子、狀若海松子、而色黃、殼薄下之易生、新者最峻、下入藥宜擇陳者、

天保十年ノ比、京師ノ物産會ニテ高サ二尺許ノモノヲ目撃ス、今攝州池田ノ種樹家ニモアリ、

シラキ

〔重修本草綱目啓蒙二十四〕婆羅得 詳ナラズ

シラキニ充ル古説ハ穩ナラズ、シラキハ烏臼ノ一種トスル説ヲ優レリトス、シラキ江州ハ一名シロキ正、新校コクドノクハシ、木タンポ、アカ子チ、カウジラキ、紀州アブラミ、城州アブラキ、江州シロハダ、豫州イハハ、丹後モエギ、土州チングハ、仙臺 此木山中ニ多シ、高サ丈餘、葉ハ柿葉ニ似テ、斷レバ白汁出、故ニ木タンポ、ノ名アリ、夏初葉間ニ三四寸ノ長穗ヲ出ス、粟穗ノ狀ノ如ク、黃白色、穗ノ本ニ實ヲ結ブ、形續隨子ニ似テ大ナリ、ソノ莖長ク下垂ス、實ゴトニ三四子アリ、大サ三分許、正圓ニシテ、黒白斑文アリ、仁ヲ搾テ油ヲ取り、自鳴鐘ニ用ユベシ、秋ニ至リ紅葉美シクシテ落ツ、

黃楊

〔倭名類聚抄二十〕黃楊 兼名苑注云、黃楊和名色黃白、材堅者也、豆介

〔伊呂波字類抄植物附植物具〕黃楊ツケ

〔倭訓栞前編十六〕つげ略中 黃楊は今姫つげといふ、草つげとも、庭つげともいへり、尾張つげは、

錦塾黃楊也、矢どめと稱するは、直脚黃楊也、犬つげは、奴柘又柞木也といへり、美濃にてけづらともいふ、白つげあり、葉青白く大きし、